

令和7年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市西院老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

京都市老人デイサービスセンター条例に基づき、
・老人福祉法第20条の2の2に規定する老人デイサービスセンターとしての事業
・前号に掲げるもののほか、市長が必要と認める社会福祉の増進に関する事業を実施

2 事業実施内容

（１）指定管理業務（本来業務：老人デイサービスセンター）
送迎サービス・入浴サービス・食事提供サービス・レクリエーションの提供・機能訓練・介護相談・健康チェック・ケアプラン作成

開所日：月曜日～日曜日（365日運営）

定員：35名

事業実施地域：京都市右京区（丸太町通以南・天神川通以東）、中京区（千本通以西・五条通以北）、下京区（千本通以西・五条通以北）

また、デイご利用者対象に、毎利用時に持ち帰り弁当を提供（デイサービスの選択サービスとして実施）

（２）指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）

自主事業の実施状況は、以下の通り。

3 サービス提供状況

＜サービス提供体制＞

管理者1名 生活相談員4名（兼職含） 介護職16名（兼職含） 看護師3名（兼職含） 機能訓練指導員3名（兼職含）

少しずつではあるが、相談員、ケアワーカー 看護師、機能訓練指導員が委員会活動や会議の場を通して、ご利用者の様子など共有できるようになってきている。今後は少しずつ自宅での生活の継続性を踏まえた課題の共有や維持・向上を目標とした視点で対策等の検討をしていく必要がある。

・年間通して、外出行事や社会参加活動の継続をすることができた。その中でご利用者が主体的に意見を出せる雰囲気作りなども行うことができた。

・目標にしていた日帰り旅行を事故なく実施することができ、多くの方に参加していただくことができた。また来年も行ってみたいという要望も受けることができ、職員とご家族との交流の場にもすることができた。

・5Sの活動については、定期的に行うことがなかなか難しかったため、グループによる活動や全体での会議後、時間を取るなど活動できる場を検討していく必要がある。

・施設の取り組みを通信で、広報していく活動については、今後も継続し、西院デイサービスの売りを知らせていく。

・実習生やボランティアの方の受け入れは積極的に行うこと出来た。外出行事などにもボランティアの方に気安く参加の声掛けができる雰囲気ができてきている。今後は、どのような実習生であるかやボランティアの方であるか等の共有をもう少し図り、担当職員以外でも声をかける、かけてもらえる関係性づくりを図っていく必要がある。

・地域行事やイベントについては、今後も継続して積極的に参加していく。

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）

・給食調理業務

4 市内中小企業への発注に対する考え方

市内中小企業に事業を委託する場合は、以下の考え方に従って業者選定をしています。

委託への考え方

（１）業務内容が専門的な知識を必要とし、かつ施設内の職員では対応が困難な業務の場合。

（２）法人が専門的に行う業務ではないため、専門に行う業者のほうがより効率的に、かつ質の高いものを提供できると判断できる場合。

（３）業務内容は簡易であるが、行う人材を集めることが容易でない場合、その業務を行える人材を集めることに特化した業者がある場合。

また、備品購入等の発注については、市内の業者を優先して活用しています。

5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1)延べ利用人数（実績値）

①令和7年度実績値	10,883	人
②令和8年度目標値	10,585	人

(2)稼働率（実績値）

①令和7年度実績値	85.2	%
②令和8年度目標値	83	%

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人デイサービスセンター）

介護保険収入	116,113,641
利用料収入	11,323,804
委託料収入	
補助金収入	1,005,582
寄付金収入	3,000,000
雑収入	680,483
その他	661,838
収入計	132,785,348

令和7年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	84,235,054
事業費	19,598,592
委託費	13,002,668
小額修繕費	3,297,052
その他	6,479,439
支出計	126,612,805

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

ご利用者にアンケートを実施。

(2) 利用者満足度把握の結果

アンケートの配布と回収：令和8年1月～約1か月間

配布枚数：120枚 回収枚数：52枚 アンケート回収率：53.6%

(3) 意見等への主な対応状況

皆様には大変多くのご意見をいただき、大変ありがとうございます。西院デイサービスは365日営業しておりますので、お盆やお正月の時期など含めて、遠慮なく臨時利用や振替利用のお声掛けいただければと思っております。デイサービスでのご様子を上手にご家族にお知らせできていない部分については、職員間で検討し、定期的に取り組みの様子を入れるなど検討していければと思っております。また室内の温度については、空調の加減で、温かい場所や寒い場所、涼しい場所や熱い場所などが出てしまい大変皆様には申し訳なく思っております。ただ設備の問題や様々な嗜好の部分もあり、全員が満足のいく対応は難しいかもしれません。しかしテーブルの位置の変更やひざ掛けの貸し出し、空調温度の調整等で対応させていただきますので、遠慮なくご意見いただければと思っております。その他、職員の支援について、「ありがたいが、自分でできることはしていきたい。」というご意見については、職員間で「自立支援とはなにか」ということを再考し、ご利用者のできる活動を支える。増やしていくという視点から皆さんの支援にあたっていきたいと考えております。

今後とも西院デイサービスの取り組みに、ご理解とご協力いただき、多くの意見を遠慮なくいただければ幸いです。

7 その他特記事項

(1)

(2)

8 評価（指定管理者自己評価）

◆5S活動を活かした生産性向上の取り組み

- ・5S会議を定期的に実施。推進体制を整え、各班目標設定。マネジャー、5Sリーダーを中心に各部署会議内で活動進捗管理を行い、目標に沿って実施出来ているか確認しながら実施することができた。
- ・部署によって活動進捗にばらつきは見受けられるが、業務繁忙の中でも各チームが連携して、例年通りbefore/after大会での評価することができた。

◆地域福祉推進

- ・おいでやす食堂は、9年目を迎えることができ、今年度一度も中止することなくリアル開催出来ている。コアメンバーに加え、既存ボランティアの方々、各部署職員の理解、協力の賜物。毎回実習生やインターン生等受け入れも多く、地域共生の取り組み、法人が掲げるV/M/Vを体現出来ていると評価。
- ・右京社協を中心とした、“西院包括圏域つながるPJ”について『わくわく朝ごはん』企画を立案。圏域福祉事業所と連携して年度内で計2回実施した。
- ・6年ぶりにデイ日帰り旅行（ミンガンツアー）を2回実施。法人内の職員の方々にもボランティアとして参加していただき、ご利用者、職員ともに楽しめた。

◆職場づくり～接遇マナー向上・研修の充実～

- 職員のスキルアップと人材の育成・定着
- ・施設離職者3名（デイ2名、包括1名）、入職者5名（デイ4名、包括1名）年度通じて離職者も少なく、異動・新規職員も日々奮闘、運営に貢献。各部署職員皆様の横のつながり、関わりの成果。
- ・研修委員会を中心に施設内研修計画を整備。法定研修について研修動画サービスも活用しながら外部講師も招き、計画通り研修を実施した。
- ・日々各部署多忙の中、今年度も引き続き様々な実習・インターンシップを受け入れた。（総勢約20名）
- ・障害者差別解消法に基づく不当な差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供への対応状況について障害を理由とする差別の解消に向けた職員研修により理解を深めた。

令和7年度指定管理業務に関する事業報告書
(地域包括支援センター併設の居宅介護支援又は、老人介護支援センター)

施設名 社会福祉法人京都福祉サービス協会
西院ケアマネステーション

1 施設の管理運営

居宅介護支援 事業所は、介護保険法、その他の関係法令及び「京都市介護保険法に基づく事業及び施設の 人員、設備及び運営の基準等に関する条例（平成25年京都市条例第39号）」に定める内容を 遵守し、事業を実施する。
--

2 事業実施内容

指定管理業務（本来業務：居宅介護支援） （居宅介護支援の具体的取扱方針） 居宅介護支援の具体的取扱方針は次のとおりとする。 （1）相談の受付場所（2）利用者等への情報提供（3）利用者の実態把握（4）居宅サービス計画の 原案作成（5）サービス担当者会議の開催（6）居宅サービス計画の説明、同意及び交付（7）居宅 サービス計画の担当者への交付等（8）居宅介護支援サービスの実施状況の継続的な把握、評価（9） 介護保険施設の紹介等 （営業日及び営業時間等） 第5条 事業所の営業日及び営業時間は、次のとおりとする。 （1）営業日 年末年始（12月29日から1月3日まで）を除く毎日。 （2）営業時間 午前8時30分から午後5時30分までとする。 2 前項の営業日、営業時間にかかわらず、電話等により常時連絡が可能な体制を整備する。

3 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 収支実績

本来業務		令和7年度収入状況及び支出の状況		(単位：円)	
介護保険収入	25,779,218	人件費	22,562,495		
利用料収入		事業費			
委託料収入	348,764	委託費			
補助金収入	42,000	小額修繕費	16,400		
寄付金収入		その他	877,680		
雑収入	80,150	支出計	23,456,575		
その他					
収入計	26,250,132				